

血栓性血小板減少性紫斑病と診断された皆様へ

久留米大学病院（病院長：野村 政壽）では、『既存情報の提供のみ行う機関』として以下の臨床研究に参加しています。受診時に患者さんから取得された既存情報（診療情報等）を代表機関である奈良県立医科大学に提供しています。下記の概要についてご確認いただき、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、試料・情報を用いませので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、研究機関の長の許可を得て行います。当院では、病院長の了承を得て、提供しています。

① 研究課題名	血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）に生じる心筋虚血と好中球細胞外トラップ（NETs）の評価
② 研究期間	奈良県立医科大学実施許可日から2028年3月31日 当院では病院長の了承を得て、既存情報を提供します。 情報提供開始予定日：2023年12月27日 情報使用終了予定日：2028年3月31日
③ 対象患者	対象期間中に担当医から奈良県立医科大学輸血部に検査依頼があり、TTP と診断された方。
④ 対象期間	2005 年 4 月 1 日 から 2023 年 9 月 30 日
⑤ 当院の責任者	久留米大学病院 血液・腫瘍内科 毛利 文彦
⑥ 研究機関・研究責任者	奈良県立医科大学輸血部 松本 雅則
⑦ 使用する試料・情報等	対象となる患者さんの担当医に依頼して、以下の情報を提供いただきます。 ①患者イニシャル、生年月日、性別、発症日、既往歴。 ②抗血栓療法の有無、胸部所見の有無、心電図所見、心臓超音波所見、トロポニン測定値。 ③心筋ストレスマーカー、転帰。 また、診断目的で既に提出された血液検体を用いて、以下の項目を測定します。 トロポニン T、トロポニン I、シトルリン化ヒストン H3、DNA/histone complex。

⑧ 研究の概要	血栓性血小板減少性紫斑病は全身に血栓をもたらす疾患ではありますが、当輸血部の過去の研究の結果心筋虚血が致命的帰結の主因である可能性が示されています。また近年好中球細胞外トラップという機序が発見されました。これは好中球が細菌などを貪食によって殺菌するのではなく <u>核酸</u> を投網のように投射してとらえる全く新しい免疫学的機序です。しかしこの機序の免疫反応は慢性化することで血栓形成の素地になることが判明しています。今回当研究室に提出された検体を用いて心筋虚血と好中球細胞外トラップの関連性を研究します。また初診時の臨床所見について担当医にアンケートを送付し症状との関連を評価します。		
⑨ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。ご希望される場合は、「⑫ 問合わせ先・相談窓口」にご連絡ください。		
⑩ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。		
⑪ 個人情報の取扱い	臨床所見やイニシャルなどの個人情報を研究用 ID に置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。研究 ID との研究対象者管理表は厳重に研究責任者において管理されます。研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。		
⑫ 問合わせ先・相談窓口	久留米大学病院 血液・腫瘍内科 担当者：毛利 文彦		
	電話	0942-31-7852	FAX 0942-31-7854
	Mail	mouri_fumihiko@kurume-u.ac.jp	